

一般質問 追跡! Vol.15

2019年3月発行 【発行・編集】鷹栖町議会

議員が行った一般質問が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡しました。

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしています。

【連絡先】 鷹栖町議会事務局 ☎ 0166-87-2111 (内線 302・303) gikai@town.takasu.lg.jp



今回は2017年中の質問を追跡しています。この期間の定例会号は議会報166号～169号です。

認知症に対する総合的な対策は

2017年6月定例会 青野議員

地域での見守りを強化

認知症になりにくい生活習慣と能力回復トレーニング等の予防策も有効であるとの報告があります。また地域での見守り・ケアの取り組みも重要な課題です。本町の認知症対策の取り組みは。

答弁 町長 認知症予防教室、脳トレーニングプログラムに加え、フィットネス倶楽部「コレカラ」では脳活性化体操に取り組んでいます。また軽度認知障害(MCI)検査を気軽に受ける環境を整え早期発見に努めています。

認知症の方を地域で支えるためにも、サポーターを養成することが重要と考えています。

認知症サポーターのフォローアップ研修を実施し、地域での見守り強化を進めています。また、フィットネス倶楽部「コレカラ」では運動の前にヘルスリテラシー講座(ミニ健康講座)を開催し認知症の理解を深めています。



地域包括支援センターの担当者のみなさん。MCI検査は個人対応もしており、自宅でも受診可能です。お問い合わせははぴねす(87-2112)まで!

この質問は議会報167号に掲載→



指定管理者制度のさらなる活用は

2017年3月定例会 片山議員

体育施設に制度を導入

鷹栖町での指定管理者制度導入の総合的な評価と今後、どの施設を指定管理にするかの基準は。2016年度教育行政方針に各体育施設の指定管理についての調査研究を進めるとありますが状況は。

答弁 町長・教育長 いずれの施設でも利用者のニーズに対応した適切なサービスが提供され、町の事務作業も軽減されています。導入にあたってはサービスの質が低下しないよう一つひとつの施設を丁寧に検証します。

各体育施設の管理について体育協会と協議を進めてきましたが、慎重な検討が必要と判断し、調査研究を継続します。

この質問は議会報166号に掲載→



指定管理者制度が導入された総合体育館

農地履歴の作成と評価基準設定を

2017年12月定例会 舟根議員

農地台帳の整理を実施

農地あっせんをスムーズに進めるためにも、所有者、農地整備をした時期、費用負担者など過去の経緯を明確にする農地履歴の作成は重要だと考えます。

また基準農地の評価額を設定することで、農地集積・多団地化解消の推進と農業の効率化につながるのでは。

答弁 町長 より効率的なあっせんを行うためには農地台帳の整理が急務であると考えています。

基準農地の評価額設定については、設定方法の調査および効果・影響などを研究し、設定に向けて研究します。

この質問は議会報169号に掲載→



裏面に続きます

丸山句碑の森の有効活用を

丸山句碑の森を本町の文化的資源・観光資源として有効活用することで活性化にもつながるのでは。また社会教育、学校教育の教材としての有効活用の考えは。

答弁 教育長 大雪カムイミンタラ DMOにおいて本町の観光資源と位置づけ、観光協会とも連携し活用します。
学校教材としての活用は現在の状況では困難ですが、保存会の意向を尊重しながら可能な範囲で協力していきたいと考えています。

この質問は議会報 169 号に掲載



句碑の森の入り口と玄穹庵（げんきゅうあん）

2017 年 12 月定例会 中村議員

国の補助金で環境整備

俳句を中心とした個人や団体が利用しています。2018 年は鷹栖と旭川の俳句団体合同での活動にも利用されました。
2017 年から国の補助金を活用した環境整備も進んでいます。
鷹栖町観光協会ホームページ「たびたかす」でも観光スポットとしてPRされています。

鷹栖町観光協会ホームページ「たびたかす」はこちらから→



三大疾病の予防対策を

重病になってから受診し、入院や手術を受ける町民が多い傾向があります。予防対策の取り組みは。また 40%台と低迷している特定健診受診率を向上させるための取り組みは。

答弁 町長 検診項目を増やし充実を図り、保健師が未受診者を訪問するなどし受診率向上に努めています。
保健推進委員を対象に心筋梗塞の予防をテーマにした講演会の開催など周知を促す取り組みを進めています。また健診会場やイベント会場でも健康づくりの普及啓発に努めています。

この質問は議会報 169 号に掲載

2017 年 12 月定例会 植西議員

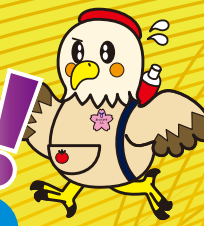
特定健診を 500 円に

2018 年度から特定健診の自己負担額が 500 円になりました。
また、保健師が積極的に地域に出向いて受診勧奨を行っています。受診後も特定保健指導の対象者だけでなく、リスクのある方に対する生活習慣改善に向けた支援が行われています。
さらに食生活習慣改善を図るためのアンケート調査も実施されました。課題を明確化し、今後活かしていくとのことです。

一般質問その後を追跡

さらにその後!

北野地区の水害対策は



追跡レポートの後、さらに動きがあったことについて特集します。
今回は北野地区の大雨被害対策についてです。

大雨で浸水被害発生

2014 年 8 月 5 日未明から降り続いた大雨で、北野東町内において床上浸水 6 棟、床下浸水 9 棟の被害が発生しました。

9 月定例会で一般質問

水害対策について大石議員が一般質問。
「迅速な対応が出来るよう詳細な対応策について協議、10 線排水樋門に流入する排水系統の分散化に関しても北海道と総合的な検討を進める」との答弁がありました。

工事を計画

開発局との連絡体制を確立し、内水対策として樋門操作の簡略化・ポンプ設置釜場の整備などの工事を予定。
町でも防災用排水ポンプ 2 台の設備のほか、調整池ゲートの整備工事を計画。
(2015 年 11 月発行の議会報 160 号での追跡記事)

災害対策のすべての工事が完成!

2016 年 3 月北野 10 線排水樋門が完成。
樋門操作オートゲートおよびポンプ設置釜場・格納庫（ユニットポンプ・発電機）のほか、調整池ゲート等の一連の工事が終了。
また、道々幌加内線の排水系統の見直しについても協議。

さらにその後

緊急排水で災害防止!



2018 年 7 月 3 日未明からの大雨でオサラッペ川の水位が上昇しましたが、樋門釜場にポンプ 10 台を設置し緊急排水を実施。調整池水位が低下し災害を防止することができました。

さらに道々幌加内線の排水系統見直し工事が完成、北野東町内排水対策関連工事がすべて完了しました。



水害対策訓練を実施!

防災訓練は全町民対象に!

2015 年から消防団や関係者による水害対策の訓練を行っています。2016 年の訓練は完成した釜場で放水訓練などを実施。その後も土のう積みやポンプ操作など実践的な訓練を続けています。
2007 年から町内各地で行っている防災訓練も 2018 年の北野地区での開催から町内全域に参加の呼びかけをするようになりました。2019 年は中央地区で開催予定です。